



上平間第二老人クラブの紹介 その2

会長 古屋 康雄

前回はわが老人クラブは、町会が作ってくれた地域密着型のクラブである、述べました。今日はその特徴を生かした活動のいくつかを紹介いたします。

一、パターゴルフは盛況

これはゴルフのパターでゴルフの球を打つて、グラウンド上に置いた植木鉢の水入れ台をピン穴とし、その周りにマットを張り、シヨット、ミドル、ロングの距離を置いて9ホールを、3、4名が一組となつて順次回つてゆく競技です。毎週火、木の2日、1日4回行つるので、良い運動になります。成績は年間記録され、コンペも年2回催されます。またホールインワンすると100円出して、毎日数個もありますので、どんだん貯まつていきます。会員は20名余、なお世話は大変ですが、心ある役員のお陰で、大変盛況です。

二、例会に卓話を設けています

毎月、会議、報告、連絡などをするのが例会ですが、私たちは前半に卓話時間を設けています。今年健康作りの年として、



★思い出のコーナー 復員船は、リンゴの歌を迎えられ 四区 政木 先登

昭和21年1月、私の乗った米軍の上陸用舟艇は夢に見た日本本土の下関に到着し、戦いに破れた傷心の陸軍軍人の私は無事に帰還する事になった。船には歌手の並木道子さんが乗船してきて、「赤いりんごに唇寄せて」とりんごの歌を熱唱して迎えてくれた。私はそれを見て涙が止めどなく流れ、生きて帰れたと戦友と共に泣いた。

高齢者の食事、睡眠、運動、医者へのかかり方等を順次、保健師の講話を聞いたり、テキストによる研究会などを開いたりして勉強しています。

三、お楽しみ旅行年3回実施 日帰り旅行を毎年3回実施し、特に食事を大事にして、ゆず料理や、あんこう鍋、蒟蒻料理、牛鍋などを賞味して来ました。大勢参加してくれましたので、自分のクラブだけでバス一台出せるのも有難い事です。

四、平間の里訪問を継続。 これはもう5年も続いている、毎月第4金曜日に、大勢で出かけ、施設入居の皆様と一緒に懐メロを歌うのです。もうすっかり慣れまわつたので一日千秋の思いで待つていきたいと思います。

五、その他のこと。 区老連主催で行われる、演芸会、運動会、趣味の会等々に於ける活動振りは目覚ましいので、大いに注目されています。

その他カラオケ愛好会、読書親交会、またその他の社会奉仕活動等々紹介したいことが一杯ありますが省略します。

以上簡単に紹介をしてきましたが、町内にはクラブ未加入の高齢者が大勢おられます是非仲間になって頂ければ幸いです。

短歌



銘仙に割烹着つけ厨に立つ 母の鼻歌賛美歌なりし 一歩づつ歩み続けてたどり着き 逢えるものなら逢いたし母に 今母が在りせば何とこの迷い よき思案など聞きたきものを

冬空は晴れて陽ざしもあたたかく ガラス越しには花がまばゆい

夕餉の鮎を又も焦がしぬ 難破船

宮古島はマリアリアが蔓延して いて沢山の戦友が亡くなつた。地面に草を敷いて天幕の中で寝るのだが、高熱でうなされる声がいとも周囲に響いてた。その上、糧食が無いため、トカゲ、へび、かたつむり等、生きてる物は何でも捕まえて食べた。なかには貧しい住民の家へ押し入って食べもの、薩摩芋などを強奪する兵隊達もいた。生きるためには仕方ない事であった。米軍の空襲と艦砲射撃はすさまじかった。毎日のことなので気が狂う筈なのだが、その時は死を恐れることが無くなつていたのである。毎日亡くなつた戦友の衣服を剥ぎ松林で茶毘にふして始末した。衣服は仲間間で頒けあつた。やがて敗戦となり米軍が上陸してきて気がぬけた。生きの道がひらけ人間としての生活が戻ってきたのである。それから復員するまでの1年間

モハン事件でソビエト軍との戦いで全滅した部隊に配属になった。そこで初年兵教育を受けてから南方へ転進との命令により朝鮮の釜山港から目的地も知らされずに出航した。運命とは全く判らないもので乗船して江差丸が故障して引き返し、後続の船団に組込まれて、命拾ひをすることになった。最初の船団は沖繩本島に上陸して沖繩戦で玉砕することとなる。

俳句 新春・天神台句会

童心にかえり鶴折る年始 猫の干支あるといいなあ初暦 年賀状過ぎ日思いて未来書く

初詣願ひ事なく只感謝 梅田 松男

雑煮膳孫にほめらる主婦冥利 白菜の歯に浸みわたる今朝の冷え 水漬の落ちて気づくや寒の入り

初春や教養めしませわが頭に 線路ばた南京ねずみねどこほし 掘火燧もそり動いて姿いでる

初孫誕生知らせる賀状踊りけり 仏壇の部屋の遺影に御慶かな 無精髭そういえば今日は初鏡

膝痛の夫婦揃いて初詣 ねばならぬ事はかりなり年の暮 山茶花や年上の友独り住む

在りし母冬の厨の割烹着 出番来て干支のいのしし飾り棚 松一本添えてめでたき花となり

冬晴れや風大空に夢描く 初雪や塵と思ひし我哀れ 初夢は胸に抱きし夢に似つ

小春日や古刹で将棋老ふたり 冬ざれや無人の街を猫走る 配達夫ばかり絵となり冬霞

は米軍の使役で沖繩本島の嘉手納飛行場造りに従事した。約2年余りを過ごした宮古島を離れる際には多くの亡くなった戦友の霊を慰める為に黙禱を捧げたが、今では六十数年前の出来事として遠い世界に去ろうとしている。

私は青春時代を戦争に従軍して棒に振つたので「今が青春」と自分に言い聞かせて懸命に生きていた心算である。ちなみに私は大正13年8月11日に長野県上高井郡保科村という寒村に生を受け、

51才だつて泣きたい時もある 幼い頃の自分に戻り ただただ泣くことだけを でも今は51才 ほんの少しの理性が働いて 中途半端に泣くのをやめる 一生懸命泣くのをやめる 遠くの友達 受話器の側で 「ガンバレ」と...

詩

いつでもそばに 遠くの友達

運命的な女王の生涯

クレオパトラ

ゼノビア

シバの女王

宮沢 治子

その昔、千七百年前に栄華を誇つたシリア最大の隊商都市、パルミユラ。その地に咲いた名花、ゼノビア女王の魅力について、一般にはあまり知られていない。

一方、古代エジプトの女王クレオパトラ7世はどうか。クレオパトラについては、同時代に

十数年前、休日はず必ずガイドブックを片手に、ぶらり散歩に出かける習慣ができた。昔日のことが懐かしく、いろいろな感慨もある。十数年を経て、かつてのぶらり散歩の跡を訪ねてみることにした。

大正時代、つぶらな瞳の憂いを帯びた美人画は、大正口マンとして大衆の心をとらえ、

生きてきた者の証言が無く、伝説が歴史になったと言われるが、ローム時代の歴史家によると、容姿に甘美さが漂い、その声音は楽器の様に響いて、巧みな会話で人々を魅了し、地中海沿岸の外国語を全て操る教養の高い女性だつたという。彼女はマケドニア系ギリシヤ人であつて、エジプト人の血は混じつていない。彼女本人が在世中に造らせたといわれる銀貨と、大理石の頭部に現存していて、それを見ると圧倒的な女王の威厳が表れている。だが、シリア都市国家パルミユラの女王ゼノビアも、クレオパトラに負けず劣らず、凛々しく、美しく、その美形はシリアの郵便切手に描かれている。時代は異なるが幾つかの共通点のある二人の女王の辿つた運命には、似て非なるものがあった。クレオパトラは女性の体一つで王朝の落日を防ごうと、ローマのシーザーとアントニウスに愛を捧げて懸命に生きたが、最後はローマの虜囚になる屈辱に耐えきれず、自ら堂々の死を選んだ。彼女の墓は未だ見つかっていない。

ゼノビアはローマからの完全独立を目指し、自らの軍隊を陣頭指揮して勇敢に戦い、エジプト、小アジアを征服して領土を拡大したがローマと諍いを起して敗れ、捕虜となつて凱旋式で一世を風靡した。画家は竹久

夢二。 上野不忍通りの地下鉄・根津駅から山手の方に少し上がった所に、竹久夢二美術館がある。展示室にはエキゾチックな漫画や夢二が表紙の絵を展示されている。入館者は若い女性が多く、熱心に観賞している。

しかし、これだけ大衆の心をとらえた夢二も、独学の大家画家であるが故に画壇からは無視され、正当な評価を得たのは第2次世界大戦以後であつたというから、私達には理解できない世界である。

小春日和のなか、爽快な気分が十数年ぶりの感慨に浸つたが沢山あるので、当分は続けることになりそうだ。投稿

観劇で楽しい人生をお年寄にも若い人にもお勧め

観劇は私たちの生き方を豊かに元気にしてくれます。幸市民館、エポック中原、宮前市民館で、一流の演劇人が見られます。例えば、林与一、渡辺美佐子、竹脇無我、長山藍子、中村梅雀などが、今年は出演します。

詳しくは、(0522)3580 堤までお問い合わせを。



竹久夢二「この夜ごろ」



竹久夢二「この夜ごろ」